

宮城県中部地域養殖復興プロジェクト計画書
(雄勝町雄勝湾支所ホタテ生産者部会①)

地 域 養 殖 復 興 プロジェクト名称	宮城県中部地域養殖復興プロジェクト		
地域養殖復興プロジェクト運営者	名 称	宮城県漁業協同組合	
	代表者名	代表理事理事長 阿部 力太郎	
	住 所	宮城県石巻市開成 1 番 2 7	
計画策定年月	平成 2 4 年 8 月	計画期間	*復興 1 期 H 2 4 年 9 月～H 2 5 年 5 月 *復興 2 期 H 2 4 年 9 月～H 2 6 年 5 月 *復興 3 期 H 2 5 年 6 月～H 2 7 年 5 月

1 目 的

雄勝町雄勝湾支所は、宮城県中部に位置し、正組合員 73 名・准組合員 214 名・合計 287 名で、正組合員の内 43 名（平成 24 年 4 月 1 日現在）が養殖を営んでおり、カキ・ホタテ・ギンザケ・ホヤ等の養殖が盛んで、当地域の主力漁業種になっている。しかしながら、東日本大震災に伴う津波により、養殖施設及び水産物並びに陸上の養殖施設が壊滅的な被害を受けた。そのため、当地域の主要養殖であるホタテ養殖を行っていた 54 経営体（平成 22 年度）が今年度は 34 経営体に減少した。そのうちの 4 経営体が今回共同体を組織し、本プロジェクトを活用し共同作業による生産、品質管理の向上を図り、安定した漁業経営の復興を目指す。

2 地域養殖復興プロジェクト参加者等名簿

（１）宮城県中部地域養殖復興協議会

	所 属	役 職	氏 名	備 考
養 殖 関 係	宮 城 県 漁 業 協 同 組 合	理 事	佐 藤 徳 弥	役 職 指 定
養 殖 関 係	宮 城 県 漁 業 協 同 組 合 石 巻 総 合 支 所	運 営 委 員 長	丹 野 一 雄	役 職 指 定
養 殖 関 係	宮 城 県 漁 業 協 同 組 合 石 巻 総 合 支 所	支 所 長	渥 美 武 義	役 職 指 定
地方公共団体	宮城県東部地方振興事務所 水 産 漁 港 部	部 長	武 川 治 人	役 職 指 定
地方公共団体	石 巻 市 産 業 部 水 産 課	課 長	勝 亦 睦 男	役 職 指 定
地方公共団体	女 川 町 産 業 振 興 課	課 長	阿 部 敏 彦	役 職 指 定

（２）雄勝町雄勝湾支所ホタテ生産者部会①

	所 属	役 職	氏 名	備 考
養 殖 関 係	宮城県漁協雄勝町雄勝湾支所	運 営 委 員 長	阿 部 賢 市 朗	役 職 指 定
養 殖 関 係	宮城県漁協雄勝町雄勝湾支所	部 会 長	砂 金 弘 樹	
養 殖 関 係	宮城県漁協雄勝町雄勝湾支所	会 長 代 理	秋 山 達 弘	
地方公共団体	宮城県東部地方振興事務所 水 産 漁 港 部	水産振興班 技 術 主 幹	阿 部 丈 晴	役 職 指 定
地方公共団体	石 巻 市 産 業 部 水 産 課	課 長 補 佐	及 川 伸 悦	役 職 指 定

3 震災前の養殖業の概要

雄勝町雄勝湾支所は、宮城県中部に位置し、リアス式海岸特有の地形を利用し、ホタテ・カキ・ギンザケ・ホヤ等の養殖が盛んな地域である。その中においてホタテ養殖は22年度には54経営体が従事し2,613トン、840百万円の共販実績があり当支所の主力養殖業である。

・震災前の施設等の状況

施設名	所有者（個人・共同利用の別）	規 格	施 設 数
養殖施設	個人所有	養殖筏（延縄式） 100mシングル 70mシングル 50mシングル	100台 2台 2台
陸上施設	個人所有	作業倉庫 フォークリフト ホタテカッター ホタテ穴あけドリル ピンセッター 海水汲揚げポンプ イーグルロボ 水槽	5棟 2台 3台 4台 1台 2台 2台 5台
作業船	個人所有	5トン未満漁船	11隻

4 被災状況

※被災の内容等の情報を記載

	規格及び数量	金額	被災内容
養殖施設	養殖筏 104台	52,912千円	滅失
陸上施設	作業倉庫 5棟 フォークリフト 2台 ホタテカッター 3台 ホタテ穴あけドリル 4台 ピンセッター 1台 海水汲揚げポンプ 2台 イーグルロボ 2台 水槽 5台	8,755千円 166千円 1,603千円 1,507千円 6千円 39千円 114千円 0円	滅失 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
作業船	5トン未満漁船 11隻	25,500千円	破損
養殖生産物	264トン	84,884千円	滅失

5 計画の内容

(1) 共同化の取組

① 作業の共同化

半成員の搬入時の荷降ろし耳吊り作業から出荷迄を共同で作業することで漁業者の転出により不足した労力を補いながら熟練した作業による効率化合理化を目指す。

② 省力化機器の共同利用

イーグルロボを共同利用することで、作業の効率化、人件費の削減を行い所得の向上を目指す。（イーグルロボ・・・貝の耳に穴をあけてロープへのピン刺しからホタテ貝の結束まで自動的に処理する機械。）

③ 養殖施設の規格の統一化

雄勝湾支所第1種区画漁業権行使規約により養殖筏を100mシングルを基準に垂下間隔60cm以上で垂下ロープを吊り下げ、1本のロープに160枚を最高限度として半成員をつけることを遵守し、品質の良いホタテ生産を目指す。

(2) がんばる養殖復興支援事業の活用

- ・事業実施者：宮城県漁業協同組合
- ・生産契約先又は契約養殖業者：別紙①の通り
- ・実施年度：平成24年度～27年度
- ・取組みスケジュール

	期 間	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
検討期間	23 年 6 月～24 年 8 月	-----	-----			
事業期間 1	24 年 9 月～25 年 5 月		=====			
事業期間 2	24 年 9 月～26 年 5 月		=====	=====		
事業期間 3	25 年 6 月～27 年 5 月			=====	=====	=====

(3) 施設復興計画

施設名	所有者（個人・共同の別）	規格	震災前	復興 1事業期間	2事業期間	3事業期間	活用する事業名
養殖施設	個人所有	延縄式					
		100mシングル	1 0 0 台	5 7 台	1 0 0 台	1 0 0 台	宮城県養殖施設災害復旧事業
		70mシングル	2 台	0 台	2 台	2 台	
		50mシングル	2 台	0 台	2 台	2 台	
		100mシングル	0 台	0 台	1 3 台	1 3 台	自力復旧
陸上施設	個人所有	作業倉庫	5 棟	6 棟	6 棟	6 棟	自力復旧
		フォークリフト	2 台	1 台	1 台	1 台	
		イーグルロボ	2 台	1 台	1 台	1 台	
		海水汲上げポンプ	2 台	1 台	1 台	1 台	
		ホタテカッター	3 台	1 台	1 台	1 台	
		ホタテ穴あけドリル	4 台	1 台	1 台	1 台	
		ピンセッター	1 台	0 台	0 台	0 台	
		水槽	5 台	0 台	0 台	0 台	
	共同所有	作業倉庫	0 棟	1 棟	1 棟	1 棟	宮城県水産業共同利用施設復旧整備事業
		フォークリフト	0 台	1 台	1 台	1 台	
		イーグルロボ	0 台	3 台	3 台	3 台	
		イーグルロボ（中古）	0 台	1 台	1 台	1 台	
		海水汲上げポンプ	0 台	1 台	1 台	1 台	
		ピンセッター	0 台	3 台	3 台	3 台	
		ホタテ穴あけドリル	0 台	1 台	1 台	1 台	
		ホタテ穴あけドリル（中古）	0 台	1 台	1 台	1 台	
		ホタテカッター（整備）	0 台	1 台	1 台	1 台	
		水槽	0 台	9 台	9 台	9 台	
作業船	個人所有	5 トン未満漁船	1 1 隻	9 隻	9 隻	9 隻	自力復旧
	共同所有	5 トン未満漁船	0 隻	2 隻	2 隻	2 隻	宮城県共同利用漁船等復旧支援対策事業

(4) 生産量及び経営体数

項 目	震 災 前	復興 1 事業期間	2 事業期間	3 事業期間
生産量 (トン)	2 8 8 @ 3 0 4	2 2 4 @ 3 2 0	3 5 2 @ 3 0 0	3 7 6 @ 3 0 0
生産金額 (千円)	8 7 , 5 1 8	7 1 , 6 8 0	1 0 5 , 6 0 0	1 1 2 , 8 0 0
経営体	4	4	4	4

(5) 復興に必要な経費

(単位：生産量はトン、その他は千円)

	震災前の 状況	復興 1 事業期間	2 事業期間	3 事業期間
収 入	87,518	71,680	105,600	112,800
生産量 (トン)	288	224	352	376
生産額 (千円)	87,518	71,680	105,600	112,800
経 費	78,155	73,935	106,995	110,305
支払金利	0	0	0	0
損害保険料	1,415	900	1,233	1,322
公租公課	2,231	0	0	0
漁業権行使料	518	536	600	600
漁業施設共済掛金	0	44	1,069	1,781
人件費	31,860	30,631	38,559	38,488
水道光熱費・燃油代	1,431	1,841	2,575	2,594
種苗代	30,339	22,249	37,400	39,950
養殖用資材代	3,091	2,469	2,341	2,907
修繕費	2,199	1,547	3,934	3,513
販売費	2,179	2,724	4,013	4,286
雑費	566	0	0	0
その他の経費	0	0	0	0
減価償却費	2,326	8,921	11,124	10,717
施設利用料	0	2,073	4,147	4,147
収 支	9,363	Δ2,255	Δ1,395	2,495
償却前利益	11,689	8,739	13,876	17,359

< 養殖の生産方法 >

種苗（半成貝）を毎年１０月～１２月頃、北海道より殻長７～８cm位に成長した半成貝を陸送搬入する。搬入された半成貝は即日、殻の耳と称される部分に電気ドリル等で２mm程の穴を開け、すでに垂下ロープにさしてある耳吊り用のピンに通し一連当りの垂下枚数１５０～１６０枚位を垂下する。（垂下式）

出荷サイズ１１cm以上に成長するまで養殖筏貝殻等の付着物を取り除く作業を行い７・８月～翌年の５月頃迄出荷をする。出荷後は、次期の半成貝の耳吊り作業の準備や空いた筏の整備等を行うため周年操業が生じる。

< 経費等の考え方 >

カキ・ホヤ等の他の養殖も行っており、震災前の３ヶ年（２０～２２年）の確定申告書を基に水揚金額に応じて按分計上。

● 損害保険料・・・ホタテ養殖専用船の保険料を算出計上。

● 漁業権行使料・・・宮城県漁協雄勝町雄勝湾支所の規定に基づいて計上。

ホタテ養殖施設 １台当り	100m シングル	5,200 円
	70m シングル	3,600 円
	50m シングル	2,600 円

● 漁業施設共済掛金・・・１期目は 100m シングル ５７台
２期目 ３期目は 100m シングル １１３台、70m シングル ２台、
50m シングル ２台、合計 １１７台を計上。（３期目は水揚終了迄を計上）

● 人 件 費・・・経費控除後の収益より、事業内容・規模により算出し計上。

● 水道光熱費・燃油代

・・・ホタテ養殖用の船の燃料代（軽油）、作業場の水道・電気料を使用頻度により算出し計上。

● 種 苗 代・・・半成貝単価を １個当り １７円（運賃・氷代等を含む）で計上。

● 養殖用資材代・・・ホタテ養殖に必要な資材費を計上。

● 修 繕 費・・・ホタテ養殖に使用する機器・漁船等の費用を計上。

● 販 売 費・・・水揚金に対して宮城県漁協雄勝町雄勝湾支所の内規に基づき
販売手数料 2.3% と共販手数料（本所） 1.5% を算出し計上。

● 減価償却費・・・ホタテ養殖施設他の減価償却費を計上。

● 施設利用料・・・共同施設等の利用料を計上。

● 支払金利・公租公課・雑費・その他の経費・・・該当なし

6 復興後の目標

(1) 生産目標

	震災前		10年後
養殖施設数	104台	⇒	117台
陸上施設数	作業倉庫4棟他		作業倉庫7棟他
養殖業者数	4経営体		4経営体
常時養殖従事者数	11人（経営者含む）		10人（経営者含む）
臨時雇用者数	38人		39人
生産量	288トン		376トン
生産金額	87,518千円		112,800千円

(2) 生産体制

作業の共同化、経費削減、養殖筏の垂下間隔の統一等の適正な養殖方法の確立による生産物品質の向上・安定化を図り、震災からの復興、漁業経営の安定化を目指す。

生産物相場に経営を左右されやすい、現状の薄利多売を追及した生産体制を見直す。震災後、放射能の風評被害という大きな問題点があり、検査等を効果的に実施し、生産物の品質管理の徹底を図ることで、より高品質・高付加価値のホタテ生産に努め、消費拡大・販路拡大を目指す。

7 復興計画の作成に係る地域養殖復興プロジェクト活動状況

実施時期	協議会・部会	活動内容・成果	備考
平成24年 8月10日	第1回雄勝町雄勝湾支所ホタテ生産者部会①協議会	(1)雄勝町雄勝湾支所ホタテ生産者部①の会長並びに会長代理の選任について (2)宮城県中部地域養殖復興プロジェクト養殖復興計画(雄勝町雄勝湾支所ホタテ生産者部会①)の部会承認について	
平成24年 8月10日	第5回宮城県中部地域養殖復興協議会	(1)第3回宮城県中部地域養殖復興協議会議事録の承認について (2)宮城県中部地域養殖復興プロジェクト設置要綱変更報告について (3)宮城県中部地域養殖復興プロジェクト養殖復興計画書(雄勝町雄勝湾支所ホタテ生産者部会①)の承認について	